



読書案内

【入門】 芸術をめぐって紡がれた思想に興味を湧いたら……

谷川渥『芸術をめぐる言葉』(新編)、美術出版社、2012年

【研究】 現代芸術がどのような課題に向き合い、いかなる問題を投げかけているのかを知るには……

篠原資明『漂流思考』、弘文堂、1987年／講談社学術文庫、1998年

今福龍太『野生のテクノロジー』、岩波書店、1995年

港千尋『記憶』、講談社選書メチエ、1996年

多木浩二『シジフォスの笑い』、岩波書店、1997年

湯沢英彦『クリスチャン・ボルタンスキー』、水声社、2004年

香川檀『想起のかたち』、水声社、2012年

【原典】 授業で取り上げた芸術家や哲学者の原典を読むなら……

アンリ・ベルクソン『思想と動くもの』河野与一訳、岩波文庫、1998年

ベネデット・クロッチェ『美学綱要』細井雄介訳、中央公論美術出版、2008年

ホセ・オルテガ・イ・ガセット『芸術論集』神吉敬三訳、白水社、1970年

ヴァルター・ベンヤミン『ベンヤミン・アンソロジー』山口裕之編訳、河出文庫、2011年

アンドレ・ブルトン『シュルレアリスム宣言』巖谷國士訳、岩波文庫、1992年

クロード・レヴィ＝ストロース『仮面の道』山口昌男ほか訳、新潮社、1977年

テオドール・W・アドルノ『プリズメン』渡辺祐邦ほか訳、ちくま学芸文庫、1996年

ロラン・バルト『明るい部屋』花輪光訳、みすず書房、1985年

ジョルジョ・アガンベン『瀆神』上村忠男ほか訳、月曜社、2005年

エドゥアール・グリッサン『〈関係〉の詩学』管啓次郎訳、インスクリプト、2000年

【概説】 そのほか、現代芸術とその研究の現状を概観したいときは……

『岩波講座 20世紀の芸術』全9巻、岩波書店、1988-1990年

第1巻『芸術の近代』／第2巻『芸術と社会』／第3巻『芸術の革命』／第4巻『技術と芸術』
／第5巻『言語の冒険』／第6巻『政治と芸術』／第7巻『現代芸術の状況』／第8巻『現代
芸術の焦点』／第9巻『芸術の理論』

『モダニズムの越境』全3巻、人文書院、2002年

第1巻『越境する想像力』／第2巻『権力／記憶』／第3巻『表象からの越境』

『表象のディスクール』全6巻、東京大学出版会、2000年

第1巻『表象——構造と出来事』／第2巻『テキスト——危機の言説』／第3巻『身体——
皮膚の修辞学』／第4巻『イメージ——不可視なるものの強度』／第5巻『メディア——表
象のポリティクス』／第6巻『創造——現場から／現場へ』